子どもたちもまちづくりに一役買ってます！
魅せる！バリっ子の底力

地域をよくするプロジェクト

エコバッグで笑顔になあれ

「ビニール袋のごみを減らしたい」との思いから、子どもたちがエコバッグを制作。つつじが丘小学校6年生112人が、つつじが丘・春日丘自治協議会へ贈りました。

これは、地域の子どもと大人が一緒になって地域の課題を考える活動「地域をよくするプロジェクト」の一環。材料の仕入れや販売方法など、子どもと大人が地域の課題を話し合う「つつじっ子会議」で議論を重ね、大人も一緒になってバッグの制作をすすめました。

バッグは、SDGs（持続可能な開発目標）を学ぶ家庭科の時間を利用して、玉ねぎやみかんの皮など廃野菜を使って手染め。さらに、「地域の魅力や『あいさつ運動』などの取組みを知ってもらいたい」という思いから、子どもたちが企画して、バッグにはご当地キャラ「えみらる」のプリントや、「あいさつと笑顔あふれる町に」といったメッセージを添えました。

つつじが丘・春日丘自治協議会会長の大内房雄（おおうちふさお）さんは、「まちをよくするために、子どもたちがいろいろと提案してくれることが嬉しい。気づいたことがあればどんどん大人たちに伝えて」と話しました。

贈呈されたエコバッグはつつじが丘市民センターで販売（1枚400円）。収益金は、看板作成など地域活動の費用に充てられます。

名張のええとこ見つけ隊が探索

まちの魅力をパンフレットに

まちなかの歴史や名所、伝統行事など子どもたちが見つけた「名張のええとこ」がパンフレットになりました！パンフレットを制作したのは、名張小学校の児童約430人。「子ども目線で名張を発信したい」と、「名張のええとこ見つけ隊」の隊員となって昨年春から、名張川、名張藤堂家邸跡、乱歩公園など各学年ごとにテーマを決めてまちなかを探索。探索の成果をパンフレットにまとめました。

「歴史」をテーマにサンロード（上本町）を調べた名張小学校6年の山本陽介さんは、「お店の人に話しかけるのは勇気がいったけど、優しく話をしてくれて嬉しかった」と笑顔で話してくれました。

パンフレットはA2版で、300部制作し協力店舗や市役所などに設置。子どもたちが名張音頭を歌ったり、乱歩の生い立ちを解説するなど、名所ごとに子どもたちの紹介動画が見られるQRコードが記載されています！

＃名張感動 投稿キャンペーン2023スタート

名張の感動を広げてだあこ

今年で4年目！ご当地グルメや絶景など、名張で撮影した魅力ある作品を「＃（ハッシュタグ）名張感動」を付けてSNSで投稿してください。毎月抽選でステキな賞品が当たります。さらに、今年は季節ごとに感動賞を選定し、ステキな賞品を贈呈します。投稿作品は市のPRに使用させていただくことも！みんなで名張を盛り上げよう！

問 広報シティプロモーション推進室　☎63-7402

Instagram・TikTokで「＃名張感動」を付けて投稿　投稿期間 R6.2月末まで

名張市公式Instagram　名張市公式TikTok

毎月抽選で2人に「なばりでお菓子屋さんめぐり」をプレゼント

ほかにも素敵な賞品が当たる「お楽しみ企画」を不定期開催

季節ごとに「感動賞」を選定

キャンペーン期間中、市公式インスタグラムでリポスト（共有）させていただいた作品の中から、季節ごとに「感動賞」を選定（各季節で3作品）！ステキな賞品を贈ります！

◎作品を投稿していただく先（Instagram・TikTok）の市公式ページをフォローしてキャンペーンにご参加ください。

さらに！「＃なばりの桜」をつけて4月30日までに投稿すると…

市内で撮影した桜の写真を「＃なばりの桜」と「＃名張感動」を付けて、思い出のエピソードやお気に入りの理由などと一緒にインスタグラムやTikTokで投稿してください。抽選で5人に「なばりでお菓子屋さんめぐり（1,500円相当）」をプレゼント！

地域がもっと、おもしろくなる！ omo-local（オモ・ローカル）通信 春の拡大版 vol.18

暮らしが豊かになっていくような、わくわく・おもしろい地域の取組をピックアップ！

青蓮寺湖畔 ロマンの森で
キャンプ場の「第二幕」をプロデュース

週末1組限定の貸切キャンプ場がOPEN！

かつてキャンプ場として賑わいを見せた「ロマンの森」で野外活動やキャンプを楽しんだ人も多いのではないでしょうか。

閉鎖され老朽化していた「ロマンの森」復活に向けて奮闘しているのは、地元の工務店・カフェ・デザイナー仲間で結成された「ロマンの森活用プロジェクト」の皆さん。「遠くまで遊びに行かなくても、こんなに近くに、森の大自然と非日常空間が広がっている。子育て世代などに、その魅力を再認識してほしい」。そんな思いで、家族で楽しめるイベント（森のはるかぜマルシェ、森のあきいろフェスタ）の開催や、管理棟を改装したカフェの運営、ドッグランの整備、クラウドファンディングによるウッドデッキとブランコの設置など、世代を超えて愛される場所になるよう、少しずつ手が加えられてきました。

そして、いよいよ週末1組限定の貸切キャンプ場が3月にオープン。2月26日のお披露目会には、「自然たっぷりのまちに住んでいるので、アウトドアを始めてみたい」といった家族連れの姿も。プロジェクトメンバーの木瀬千尋さん（写真右下）は「家族や友人、ペットとゆったり気兼ねなく楽しんでいただけます。青蓮寺湖の絶景を独り占めしながら、天体観測や釣り、ハイキングなど自然を満喫いただいて、子どもたちにもここでいっぱい思い出を作ってほしいですね」と笑顔で話してくれました。

詳しくはyuno CAMP SITEのInstagramで

森のはるかぜマルシェ

5月3日㈬ 午前10時～午後3時

会場　ロマンの森（ダム駐車場からシャトルバスあり）

ハンドメイドの品、体験などのワークショップ、フリーマーケット、飲食店、地場産の農作物、加工品などが並ぶマルシェです。心地よい音楽とおいしいご飯、緑あふれる景色に囲まれながらゆったりとお楽しみください。

Instagram

問 ロマンの森活用プロジェクト（ユノカフェ内）　☎28－0062

認定⑬　あかめ総合スポーツクラブ設立準備委員会

あれっこわい認定

子どもから大人まで92人で挑戦！

だるまさんがころんだ

みんな大興奮！「だるまさんがころんだ」の様子を動画でも！　▲TikTok

「あかめ総合スポーツクラブ設立準備委員会」が大人数で挑戦する「だるまさんがころんだ」を企画。スポーツフェスタに合わせて行われ、地域おこし協力隊の川崎智哉さんが鬼役となり、子どもから大人まで92人が参加しました。同委員会は、昨年5月から、子ども向けに鬼ごっごなどの遊びを交えて球技を体験する機会を提供していて、中でも「だるまさんがころんだ」は大人気なんだそう。

代表の冨森康宏さんは「子どもたちの笑顔を見て、やった甲斐があったと感じます。赤目の名物になるよう、今度は100人以上で挑戦したい！」と意気込んでいました。

◀認定証を手にする代表の冨森さん

「あれっこわい」は名張弁で「すごい」。今回を含めて13件が認定されています。

虹色のロゴマークを胸に「いざ出動！」

高校生が消防団ロゴをデザイン

きれいな虹が描かれた消防団のロゴマーク。デザインしたのは、名張高校2年の奥野優月（ゆづき）さんです。「出初式での虹色の放水がすごく印象的で、ロゴマークに取り入れました」と、ニコリ。

消防団員が高齢化し、年々団員数が減少。このままでは消火活動や災害時の対応に支障が出る可能性が…。

そこで、若い世代の消防団員を増やしたいとの思いから、若者の感性を取り入れようと、名張市消防本部は、ロゴマークのデザインを名張高校2年生に依頼。19人がデザインした作品の中から、奥野さんの作品が選ばれました。

「消防団は、災害時にはなくてはならない存在。このロゴマークをきっかけに少しでも団員が増えてくれたらいいな」と奥野さん。

ロゴマークは、消防団車両に貼られるなど、消防団のPRに活用されています。

問 消防総務室　☎63-5990